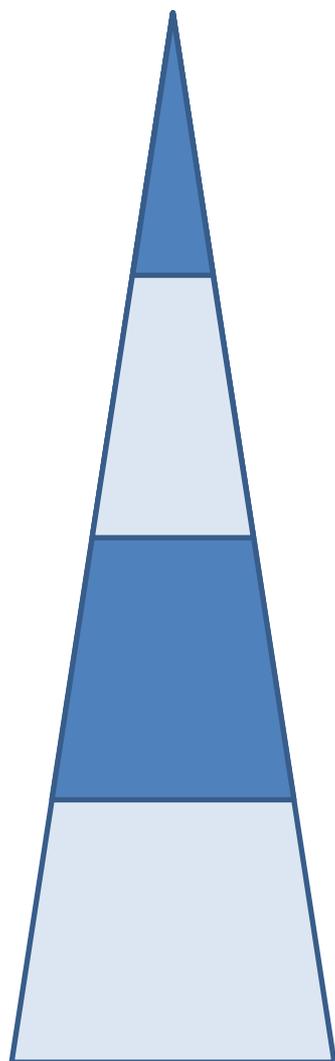


[TQM階層別] TQMにおける階層別マネジメント教育

～ 品質管理は教育に始まり、教育に終わる～

一般財団法人日本科学技術連盟
品質経営推進センター 糸柳 寿人

— 品質経営で明るい未来を創る —



トップ・役員

TQMの全体像の理解と推進、
リーダーシップの発揮

- ・ **品質管理シンポジウム(p55,146)**
- ・ JUSE-エグゼクティブセミナー(p28)
- ・ 役員のための品質経営セミナー(p29)

マネージャー

部門レベルの業務管理と目標達成、
現場の取り組みの指導・推進

- ・ **クオリティフォーラム (p146)**
- ・ **部課長のための方針管理・日常管理セミナー (p30)**
- ・ 組織力向上のためのリーダーシップ・マネジメントセミナー(p34)

中堅

現場の管理・監督、標準化と日常管理、
改善活動の支援・活性化

- ・ **係長・主任のための品質保証・品質管理セミナー(p31)**

現場第一線

日常業務の確実な遂行、
現場の維持・向上、改善活動の実践

※セミナー名横の (p●●) は、総合ガイド内の該当ページです

1. トップ・役員向け

TQMの全体像の理解と推進
リーダーシップの発揮

なぜ、品質経営に関する

役員向けの事業

が必要なのか？？

**品質経営の成否は
“経営者次第”であることは
間違いなく、経営者への教育が
品質経営の成否を握るのは
必然であります。**

品質管理シンポジウム

- QCSは、品質経営を進めるうえで、**経営陣には是非とも参画をしていただきたい場**
- 1965年の創設以来、年2回（6月、12月）開催
 - ※**第108回（55年）の歴史を誇る**
- 2泊3日の合宿制
- 各回ごとにテーマを決め、そのテーマにちなんだ 講演・グループディスカッションを実施
- 会場：52年間 箱根・ホテル小涌園
⇒2018年度から大磯へ！

**品質管理の“山を高くする”
＝『新しい方向への発展』**



ノミネーションの様子

QCS実施風景



TQM実施企業の役員クラスが、年2回定期的に参集する、貴重な場です



2. 品質管理シンポジウム（QCS）

- QCSは、品質経営を進めるうえで、**経営陣には是非とも参画をしていただきたい場**
- 1965年の創設以来、年2回（6月、12月）開催
 - ※**第109回（55年）の歴史を誇る**
- 2泊3日の合宿制
- 各回ごとにテーマを決め、そのテーマにちなんだ 講演・グループディスカッション を実施
- 会場：52年間 箱根・ホテル小涌園 ⇒2018年度から大磯へ！



**品質管理の“山を高くする”
＝『新しい方向への発展』**

第104回：変化に対応できる、変化を生み出せる

(2017年6月)

組織能力の獲得

第105回：**顧客価値の創造**活動と品質経営力のさらなる強化

(2017年12月)

第106回：お客様第一を追求する**新価値創造**の強化

(2018年6月)

第107回：**顧客価値創造**に貢献できる品質に拘り続ける

(2018年12月)

組織と人材の育成

第108回：産業競争力のさらなる向上を狙った

(2019年6月)

品質経営活動の強化

第109回：**顧客価値創造**と**組織能力強化**の連携による

(2019年12月)

企業存在価値の最大化

2. 品質管理シンポジウム (QCS)

第111回品質管理シンポジウム (予定)

日程：2021年 6月3日 (木) ~ 6月5日 (土)

テーマ：

データ駆動型社会における顧客価値創造と組織能力(品質保証)向上

特別講演：森川 博之氏 東京大学大学院工学系研究科 教授

基調講演：鈴木 和幸氏 電気通信大学名誉教授

講演 1：出口 雄吉氏 東レ株式会社 代表取締役副社長

講演 2：山本 圭司氏 トヨタ自動車株式会社 執行役員

講演 3：大嶽 充弘氏 NECプラットフォームズ株式会社 取締役執行役員専務

講演 4：椿 広計氏 情報・システム研究機構 理事、統計数理研究所 所長

QCSには、企業会員・団体会員制度があります

品質管理シンポジウム独自の「会員制度」により、趣旨にご賛同いただいている企業・団体様から資金的なご協力のもと組織的、計画的な運用を行っております。

- 年会費：企業会員 一口 181,000円（税抜）
 団体会員 一口 107,000円（税抜）

※各回、無料参加枠（トップ枠・通常枠）を確保

※無料参加枠以外の方は特別価格（40,000円）

- 報文集、実施報告を一口につき、5部配付
- 講演資料を無償ダウンロード可能。（不定期）

2. 品質管理シンポジウム (QCS)



QCS賛助会員企業一覧 117社

※2021年1月現在

リコーテクノロジーズ(株)
(株)良品計画

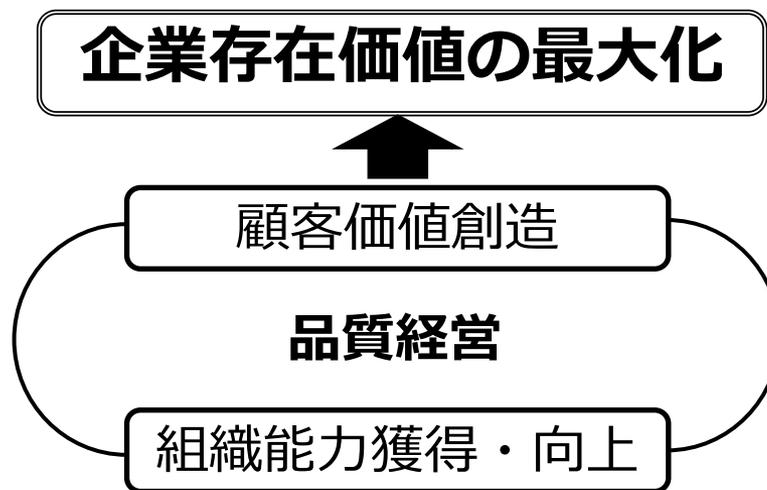
アート金属工業(株)	(株)ジェイテクト	日華化学(株)
(株)アーレスティ	芝浦機械(株)	(株)日科技連出版社
アイシン・インフォテックス(株)	清水建設(株)	日産自動車(株)
アイシン・エイ・ダブリュ(株)	JUKI(株)	日産車体(株)
アイシン機工(株)	シロキ工業(株)	日本精工(株)
アイシン軽金属(株)	(株)SUBARU	日本電気(株)
アイシン精機(株)	住友理工(株)	(株)日本科学技術研修所
愛知製鋼(株)	積水化学工業(株)	日本商工会議所
アイホン(株)	(株)セキソー	日本特殊陶業(株)
(株)麻生	ソニーセミコンダクタソリューションズ(株)	パナソニック(株)
(株)アドヴィックス	ダイキン工業(株)	パナック(株)
(株)イシダ	(株)大広	(株)羽生田製作所
(株)イトーキ	ダイハツ工業(株)	日立オートモティブシステムズ(株)
NECプラットフォームズ(株)	大豊精機(株)	日野自動車(株)
(株)FTS	ダイヤモンド電機(株)	ヒロセ電機(株)
(株)MCシステムズ	大和リース(株)	(株)フジクラ
エリーパワー(株)	(株)竹中工務店	富士ゼロックス(株)
大塚化学(株)	中国化薬(株)	富士ゼロックスマニュファクチュアリング(株)
岡谷電機産業(株)	(株)千代田グラビヤ	富士電機(株)
(株)オディックス	DMG森精機(株)	フジミ工研(株)
オムロン(株)	テックスエンジソリューションズ(株)	フタバ産業(株)
鹿島建設(株)	(株)デンソー	(株)ブリヂストン
関西電力(株)	(株)東海理化	ぺんてる(株)
(株)キャタラー	東久(株)	(株)保志
光洋サーモシステム(株)	東レ(株)	本田技研工業(株)
コーセル(株)	TOTO(株)	前田建設工業(株)
小島プレス工業(株)	一般社団法人富山県経営者協会	(株)前田製作所
コニカミノルタ(株)	トヨタ自動車(株)	マツダ(株)
(株)小松製作所	トヨタ自動車九州(株)	(株)マルヤスエンジニアリング
(株)コロナ	トヨタ自動車北海道(株)	丸和電子化学(株)
サラヤ(株)	(株)豊田自動織機	三島食品(株)
澤藤電機(株)	トヨタ車体(株)	三菱電機(株)
サンデンシステムエンジニアリング(株)	豊田鉄工(株)	(株)村田製作所
サンデンホールディングス(株)	豊田バンモップス(株)	(株)メイドー
(株)シーヴィテック	トヨタ紡織(株)	名北工業(株)
(株)GSユアサ	トヨタホーム(株)	(株)安川電機
(株)ジーシー	長津工業(株)	(株)ユニバンス
(株)ジーシーデンタルプロダクツ	新潟ダイヤモンド電子(株)	(株)リコー
JFEスチール(株)	(株)ニコン	リコーエレメックス(株)

1. トップ・役員向け

令和大磯宣言（概要）

これからの品質経営は、企業存在価値の最大化を目指し、全員参加型で従業員一人ひとりの知を活かした顧客価値創造活動と、その結果を実現・実行するための組織能力を獲得・強化の融合を図る新たな枠組みを構築し推進すべきである。

また、これまでのモノの価値のみならず、顧客が価値を獲得するためのプロセスをサポートする品質保証体制を構築すべきである。



そこで、これからの品質経営のツールを含めた具体的な推進方法を確立するための顧客価値創造研究会を設置します。ご賛同いただける産・学の方のご参加を心よりお待ちしております。

QCSには、企業会員・団体会員制度があります

品質管理シンポジウム独自の「会員制度」により、趣旨にご賛同いただいている企業・団体様から資金的なご協力のもと組織的、計画的な運用を行っております。

- 年会費：企業会員 一口 181,000円（税抜）
 団体会員 一口 107,000円（税抜）

※各回、無料参加枠（トップ枠・通常枠）を確保

※無料参加枠以外の方は特別価格（40,000円）

- 報文集、実施報告を一口につき、5部配付
- 講演資料を無償ダウンロード可能。（不定期）

2. マネージャー向け

部門レベルの業務管理と目標達成、
現場の取り組みの指導・推進

①クオリティフォーラム

1. Quality Forumの歴史

- ① 1951年開催の「第1回デミング賞受賞記念品質管理大会」に遡る。
- ② 同年、「部課長・スタッフ品質管理大会」がスタート。



第1回デミング賞授賞式ならびに第1回品質管理大会
でスピーチされるデミング博士
(1951年9月 大阪商工会議所)

- ③ その後、1960年の「貿易自由化」を前に産業界の危機感が高まっていた頃、外国をしのぐ品質の製品で優位に立つこと、そして一般消費者への品質意識の高揚が急務になっていた背景で、同年「品質月間」が創設された。
- ④ 1962年「職組長品質管理大会」、「消費者大会」、1963年「トップマネジメント品質管理大会」、1985年「サービス産業品質管理大会」が次々に開催され、ピーク時（1985年）はこれらに年間約5,000名の方が参加された。

- ⑤ 品質意識の高揚、品質管理活動の幅広い普及を目的に、企業の経営者から職場第一線の方々までを対象にした全国規模の取り組みは日本の品質レベルの向上に貢献した。
- ⑥ 2000年には、時代の要請から「サービス産業における品質管理大会」「部課長スタッフ品質管理大会」「職組長品質管理大会」を統合して現在のQuality Forum へ。

⑧ 「Quality Forum」という名称のもと、全国の組織から“クオリティ”に関する事例発表を行っている。

⑨ **他社事例など「ベストプラクティスをベンチマークする場」として開催。**

2. Quality Forumの構成と参加者のメリット

① 特別講演

⇒ 斯界の著名人から広い視野での見識を学び取ることができる。

② 一般事例発表

⇒ 自社での活動内容を発表することにより、活動のまとめや振り返りができ、また聴講者からの質問や意見交換でブラッシュアップが図れる。

③ 日本品質奨励賞受賞報告講演

⇒ TQM推進事例を聴くことにより、自社のTQM活動の参考となる。

④ 企画セッション（講演＋総合討論）

⇒他社の成功事例（異業種、異分野含む）をベンチマークすることにより、自社への取り込み、展開を行い、レベルアップを行うことができる。

【過去クオリティフォーラム 企画セッションテーマ（一例）】

- ・失敗から学ぶ成功への道
～企業事例に学ぶ失敗学実践による未然防止～
- ・企業における価値創造を実現するための人財育成
- ・継続的な設計品質の向上に向けて
～設計開発の未然防止手法Quick DRの
実践事例に学ぶ～
- ・トップが語る我が社の品質経営
- ・ホワイトカラーの業務品質向上に向けて
～トップが語る自工程完結の導入・推進Ⅱ～
- ・IoT時代に加速するイノベーション
- ・TQMのコアツール「方針管理」の重要性を改めて考える
- ・様々な分野で展開されているTQM活動

3. Quality Forum2020 開催概要

① 開催概要

日程：2021年11月4日(木)～5日(金)

会場：
・日本教育会館（東京・千代田区一ツ橋）
・オンライン
ハイブリッド開催！！

2. マネージャー向け事業

クオリティフォーラムWebサイト

(品質経営総合大会)
クオリティ
フォーラム2020

同時開催 / 第26回品質機能展開シンポジウム

日程 11/25 水 ~ 27 金 会場 日本教育会館

11/25~26: フォーラム、11/27: 事業所見学会

講演映像が視聴できます!
クオリティフォーラム
アーカイブ

詳しくはこちら ▶

クオリティフォーラム2020
特別レポート 公開中!



開催レポート



プログラム



特別講演



企画セッション



一般事例発表



ライブ配信



事業所見学会



登壇者インタビュー



過去の実績



パンフレット



アーカイブ

クオリティフォーラム
(PDFレポート)

2021/2/5

「クオリティフォーラム2020 特別レポート」をアップ
しました! **NEW**

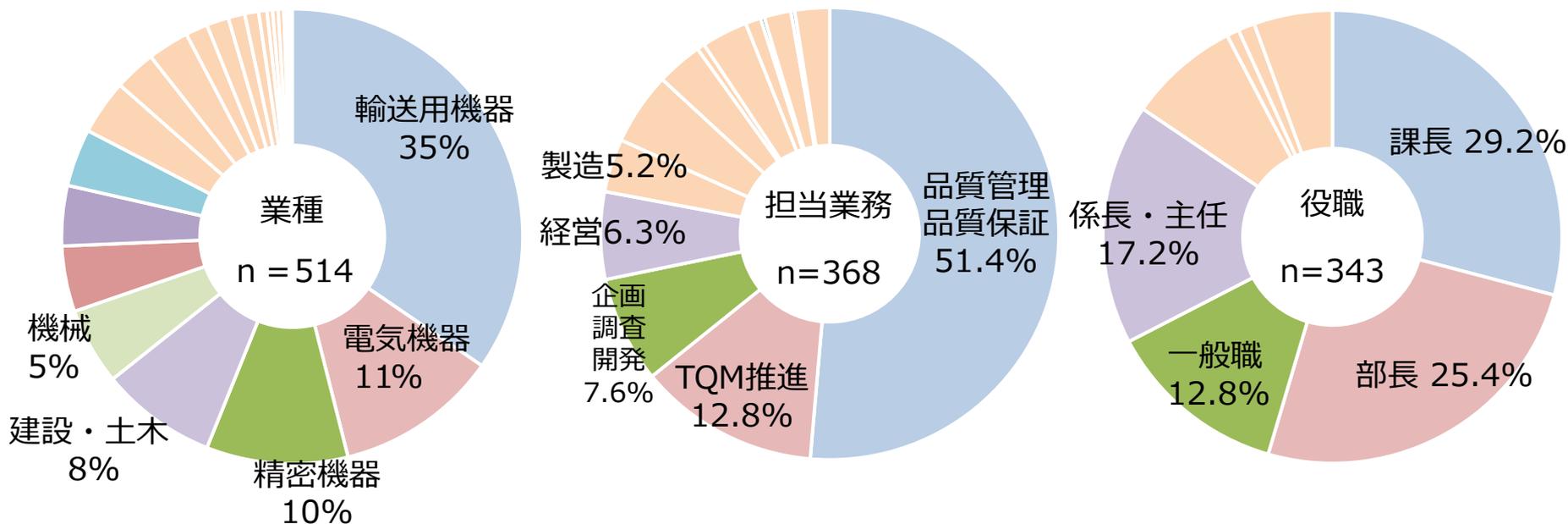
URL : https://www.juse.jp/quality_forum/

Quality Forumの参加者層 (2020年度)

① 有料参加者：184社、578名

(内訳：集合111名、オンライン467名)

② 参加者の割合



※業種のデータは2017年度のものです。

2. マネージャー向け事業

クオリティフォーラム ギャラリー



特別講演（一ツ橋ホール）



企画セッション講演



総合討論（パネル）

過去の講演が何度でも視聴できる！

クオリティフォーラムアーカイブ



https://www.juse.jp/quality_forum/video_archive/

クオリティフォーラムアーカイブ 検索

「クオリティフォーラムに参加できなかった」

「参加したが当該講演を聴講できなかった」

という方々のために、“映像アーカイブ”として講演を有償で視聴することができるシステムです。

従来東京でしか聴講することが出来なかったフォーラムを、いつでもどこでも繰り返し視聴することが可能になる、JUSEの新企画です。

(※ご利用期間は、お支払い完了より30日間です。)

①部課長のための方針管理・日常管理セミナー

(旧 方針管理セミナー実践コース)

できるように
なること

- 方針管理と日常管理の違いを明確に理解できます。
- 違いを理解することで正しい効果的な運用ができるようになります。

特徴

- ① 講師の経験（指導経験）から、正しく運用できている企業の事例、誤った運用をしている企業の事例等、自社の運用と比較しながら講義を聞くことができます。

※日本品質管理学会 方針管理の指針に準拠した内容です。

事業計画と方針管理・日常管理の関係（一つの例）

事業計画・目標の達成

方針管理

従来の活動では足りない部分

日常管理

従来の活動を確実に行うことで
カバーできる部分

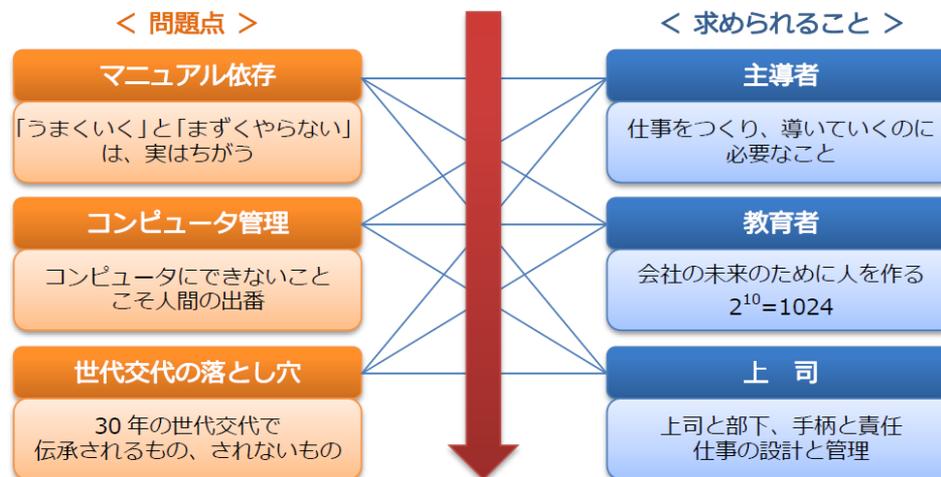
②組織力向上のためのリーダーシップ・マネジメントセミナー

できるように
なること

マネージャーとしての
「あるべき姿」を論理的に理解できます。

特徴

- ① 「失敗学」「伝達力」の濱口哲也氏が講師を務め、半日の参加しやすい設定です。
- ② 精神論、理論を解説するのではなく、マネージャーとしてすぐに実践できる考え方、行動を論理的に説明します。



3. 中堅社員向け

現場の管理・監督、標準化と日常管理、
改善活動の支援・活性化

③係長・主任のための品質保証・品質管理セミナー

できるように
なること

現場の中核となる係長・主任として、現場をマネジメントするために必要とされる①標準化の進め方、②日常業務の安定化の能力が習得できます。

何を使って

- ① 品質保証の考え方、品質管理の各手法
- ② 標準化の考え方
- ③ 問題解決（ステップと手法）

GD

個人テーマ（問題）を持ち寄ってのグループ討論により、問題解決のステップを習得していただき、実践能力を習得していただきます。



講義

ねらいとする“3つのポイント”の“基礎知識”



演習

講義で学んだ知識を自分の“技術”として習得



実践

自職場のテーマを「個人テーマ改善」として実際に改善



振り返り

自分のテーマを基にした意見交換と講師の指導

本日はありがとうございました。
ご質問などは下記までお願いします。

一般財団法人日本科学技術連盟
品質経営推進センター 品質経営グループ
TEL: 03-5378-1213
E-MAIL: tqmsemi@juse.or.jp

— 品質経営で明るい未来を創る —